(9) 人権啓発
ア 人権意識の啓発

項 目	広 島 市	湯 来 町
a 啓発冊子の発行		
(a) 内容	企業向けパンフレット 18,000部 (市内企業約1,800社) 市民向けパンフレット 18,000部 (地域団体等) 広報紙(全世帯) 438,000部 カレンダー(小・中学校) 3,500部 ポスター(企業・公共施設) 1,000部	町民向けパンフレット及びリーフレット (全世帯) 各4,000部
b 人権相談事業		
(a) 対象	各区役所における人権相談(人権擁護委員)	湯来町総合福祉センターにおける人権相談(人権擁護委員)
(b) 回数	各区月1回	年2回
c 研修会		
(a) 対象	住民、市職員、団体職員等(啓発指導員派遣) 地域団体、NPO(市民団体)、企業	広島県西部地区内の住民、市町職員
(b) 開催回数	年間60~70回 年1回	年1回
d 啓発標語の募集		
(a) 対象	小学生、中学生をはじめ全市民	なし
(b) 内容	市民の人権意識の高揚を目的とし、小学生・中学生をはじめ広く市民から人権啓発標語を募集し対象ごとに表彰を行う。	
(c) 表彰等	対象ごとに最優秀賞及び優秀賞	
e 講演会		
(a) 対象	全市民	全町民
(b) 内容	市民一人一人が基本的人権を尊重するとともに、人権問題に対する正しい理解と認識を深める。	同左
(c) 回数	年1回	年1回
f その他の啓発事業		
(a) 対象	人権パネル展 新聞広告 車内広告	人権啓発キャンペーン 人権啓発活動写真パネル展 人権問題啓発指導者の団体「やまびこの会」の支援
(b) 内容	各区民まつり等において人権パネル展を実施(8区) 中国新聞全1面、他の5紙に全5段の広告を掲載(年1回) アストラムラインのドアステッカー及び市内電車、バスへのポスター掲出	街頭でチラシ・ボールペン等の配布、 広報車の町内巡回、無線広報 西部自治会館において実施 年16回の研修等を実施

イ 手当・資金

項 目	広島市	湯 来 町
a 地域改善対策奨学資金の給付・貸与		
(a) 対象者	なし(平成13年度末現在、貸付の対象者については、所定の修学年限の間、経過措置を講ずる。)	なし
(b) 交付額		
・ 入学支度金	なし	
・ 修学奨学金	(単位:円)	
	区 分	金 額
	備 考	
	高 校	
	公 立	
	全日制	26,500
	定時制	19,000
	通信制	10,000
	私 立	
	全日制	45,000
	通信制	23,000
	大 学	
	公 立	48,000
	私 立	82,000
	通信教育	23,000
	大学自宅外通学費	20,000
・ その他	地对財特法経過措置事業経費として経費の一部を国が補助	なし

ウ 施設

項 目	広島市	湯 来 町
a 隣保館		
(a) 施設数	2館	なし
(b) 内容	年齢層及び地内外にとらわれず交流を進め、地域住民の生活文化の向上と福祉の増進を図る。	
b 集会所		
(a) 施設数	なし	集会所 1箇所
(b) 内容		地域住民の生活、文化、教養の向上を図る。
c 公園		
(a) 施設数	なし	公園 1箇所
(b) 内容		地域住民のスポーツ・レクリエーション等に活用する。
d 小規模水道		
(a) 施設数	1施設(上水整備までの経過措置)	なし
(b) 内容	生活用水の確保が困難な地域に対して飲料水の確保を図るための設置	
e 教育集会所		
(a) 施設数	5施設(分館含む)	なし
(b) 内容	周辺地域住民との交流促進を目指した社会教育機能を有する施設	